

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（189人）

4. 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

（2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

正答数の分布状況は、全国や大阪府と比べると、上位層が少なく、中間層以下に偏る傾向にある。また、平均正答率は「思考・判断・表現」の観点において、特に下回っている状況にある。

平均正答率（本校 59／泉佐野市 63／大阪府 68／全国 69.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
1ニ インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する。 (53.8/65.1)	3三 「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く。 (47.3/61.8)
1四 インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。 (64.7/82.5)	3四 「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く。 (54.9/72.1)
2三 それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する。 (63.6/74.2)	4二 原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す。 (57.6/74.1)
2四 自分がこれからどのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く。 (50.5/67.5)	4三 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。 (30.4/50.0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	16.1	13.8		2.3
読書は好きですか	63.9	66.0		2.1
国語の勉強は好きですか	60.0	61.4		1.4
国語の勉強は大切だと思いますか	88.9	92.4		3.5
国語の授業の内容はよく分かりますか	77.2	80.0		2.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.8	88.7	◇	5.9
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	56.9	74.3	○	17.4

○「知識・技能」の面では、学習内容の定着が見受けられる。

○記述式の問題について、無回答率が20%以上のものが3問もあることから、自分の考えを書くことに自信がないことが、見受けられる。

○普段の授業での意欲的な姿勢と学習状況調査の結果に開きがある。

○古典の内容を含んだ問題に主体的にとりくみ、自分の考えを書くことに課題がある。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

正答数の分布状況は、全国や大阪府と比べると、上位層が少なく、中間層が多い傾向がみられる。

平均正答率（本校 42／泉佐野市 44／大阪府 50／全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】 ○理由や考えなどを説明・表現することに関して、無解答率が全国平均と比べて高く正答率も低い問題がある。</p> <p>【関数】 ○事象を数学的に解釈し、問題の解決方法を数学的に説明することに関して、無解答率が全国平均と比べて高い。</p> <p>【図形】 ○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに関して、無解答率が全国平均と比べて高く、正答率も低い問題が多い。</p> <p>【データの活用】 ○全国的にみて正答率や無解答率に大きな差は見られない。</p>	<p>6（1）はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。（78.6/88.9）</p> <p>6（2）はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する。（46.5/58.8）</p> <p>7（2）「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている」という傾向にある。と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。（20.3/33.6）</p> <p>8（3）グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する。（31.0/42.8）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	67.8	56.7	○	11.1
数学の勉強は大切だと思いますか	92.3	85	◇	7.3
数学の授業の内容はよくわかりますか	77.8	73.3		4.5
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.7	75.8	◇	5.9
今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	81.5	93.2	○	11.7
解答時間は十分でしたか	81.5	75	◇	6.5

○「数学の勉強」について、肯定的に捉えている回答が全国平均に比べて高いが、平均正答率は全国平均よりも下回っている。正答率は中間層が多いため、週末課題などの家庭学習を通じて、基礎的な力を養う必要がある。

○「数と式」「関数」「図形」の領域で、言葉や数、式を使って説明する問題について無解答率が全国平均と比べて高い。レポート課題等を通じて、表現力や説明力をつけていくと取り組みを継続して行う必要がある。

○「解答時間は十分でしたか」について、肯定的に捉えている回答が全国平均に比べて高いが、無解答率も全国平均より高い。何も書かずに諦めてしまい、結果として「解答時間は十分だった」という回答が多いと考えられる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

正答数の分布状況は、全国や府と比べて上位層，中間層が少なく，下位層に多く偏りがみられる。また，平均正答率は「記述式」の問題において，特に低くなっている状況にある。

平均正答率（本校 38／泉佐野市 43／大阪府 45／全国 45.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
【読むこと】 ○「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し，事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる。	5（2）事実や考えが書かれた英文を読み，考えを表している英文を選択する。 (65.2/64.5)
【書くこと】 ○社会的な話題に関して読んだことについて，考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。	8（2）ロボットについて書かれた英文を読み，書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。 (14.4/19.5)
○日常的な話題について，事実や自分の考えなどを整理し，まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。	10 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ，それを説明するまとまりのある文章を書く。 (3.2/7.5)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	58.9	51.9	◇	7.0
英語の勉強は大切だと思いますか	93.3	88.0	◇	5.3
英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	92.2	87.5		4.7
将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	46.6	36.7	◇	9.9
今回の英語の問題では，まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について，どのように解答しましたか	64.5	83.7	○	19.2
解答時間は十分でしたか	48.6	45.5		3.1

○「知識・技能」の面で，「読むこと」において単語や表現などの学習内容の定着が見られる。

○記述式の問題は，無解答率が2問とも50%近くあり，全国平均より20%以上高い結果となっている。単語などの知識はあるが，そこから順序立てた文を作ることに自信がなく，諦めてしまっていると考えられる。

○普段の授業での意欲的な姿勢と学習状況調査の結果に開きがある。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか」は、全国平均を18.4%下回っている。</p> <p>○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」は、全国平均を6.7%上回っている。</p>	<p>○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く） <u>1冊以上<65.6/84.0></u></p> <p>○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか <70.6/63.9></p>
【家庭学習の様子】	<p>○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」は、全国平均を13.3%上回っている。</p> <p>○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」は、全国平均を11.3%上回っている。</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） <u><68.3/55.0></u></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） <u><45.0/33.7></u></p>

<p>【学校での生活の様子】</p>	<p>○「学校の部活動に参加していますか」は、全国平均を16.2%下回っている。</p> <p>○「普段（月曜日から金曜日）、平均して何日学校の部活動に参加していますか」は、全国平均を6.9%下回っている。</p>	<p>○学校の部活動に参加していますか <u><65.6/81.8></u></p> <p>○普段（月曜日から金曜日）、平均して何日学校の部活動に参加していますか <52.2/59.1></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」は、全国平均を5.4%下回っている。</p> <p>○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」は、全国平均を8.6%下回っている。</p> <p>○「数学の勉強は好きですか」は、全国平均を11.1%上回っている。</p> <p>○「数学の勉強は大切だと思いますか」は、全国平均を7.3%上回っている。</p> <p>○「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」は、全国平均を5.9%上回っている。</p>	<p>○1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか <56.7/62.1></p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか <77.7/86.3></p> <p>○数学の勉強は好きですか <u><67.8/56.7></u></p> <p>○数学の勉強は大切だと思いますか <92.3/85.0></p> <p>○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか <81.7/75.8></p>

本校のとりくみ

◎これまでのとりくみ

本校では、「認め、気づき、変わる。」を教育目標に掲げ、教育活動を推進しています。

本校のめざす生徒像は、①自ら考え、判断し、主体的に行動する生徒（自主）②お互いを尊重し、認め合い、力を合わせて行動する生徒（協力）③自らのことをありのまま受容し、健やかな心身の成長をめざして学習に励む生徒（健康）④将来に展望を持ち、自ら切り開き、夢の実現に向け行動する生徒（希望）です。豊かな人権感覚を身につけ、互いに認め合うことができ、基礎的な学力を身につけ、他者と協働し、自ら考え行動できる子どもの育成をめざしています。

そして、教育目標を達成すべく、本年度は9つの重点とりくみを掲げています。その中から、特に4つの重点とりくみについて記載します。

①お互いにつながり合う集団の育成

各学年工夫を凝らしながら集団づくりを意識した学級経営、学年経営と組織的な学校運営をめざしています。1年生のデイキャンプでは、登山や学年レクリエーションを通して、仲間との絆を深めました。体育大会では、学年種目等を通して各学級で生徒同士が意見交換をするなど、生徒の主体的な活動がみられました。

②学習指導の充実

生徒が授業で「わからないことをわからないまま」にしてしまい、課題解決に対し、すぐに諦めてしまう様子が見受けられます。そこで、めあて・スケジュールを明確に提示し、見通しを持たせる授業を行っています。授業の最後にはふりかえりの時間を確保し、生徒が自分自身の理解度や改善点に気づくため、「考える・書く」活動を取り入れています。また、教職員は生徒のふりかえりを元に、授業改善に努めています。他にも、積極的にICT機器を活用した授業づくりや、クロームブックを用いた週末課題にもとりくんでいます。

③人権教育の推進

本校では、毎年沖縄慰霊の日が近くなると、どの学年でも沖縄戦について学習します。今年度、1年生では「沖縄戦とは」、2年生では「ひめゆり学徒隊」、3年生では「女子学徒たちの沖縄戦」などにとりくみ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えました。

本校では、昨年度より修学旅行の行き先が長崎に変更になり、長崎での被爆者からのききとり、フィールドワークなどを実施し、命の大切さについて学びを深めました。

④生徒指導の充実

生徒支援コーディネーターを中心に、学級担任及び学年教職員と連携し、生徒1人ひとりの良さを伸ばす支援を、粘り強く続けています。不登校の子どもたちや保護者との関わりを持ち、継続的に情報共有したり相談に乗ったりしています。

また、みんなが気持ちよく、楽しく学校生活を過ごすことができるよう、「佐野中スタンダード」の周知と浸透に努めています。

◎これからのとりくみ

「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして、解決方法を決めていますか」に対して、全国77.9本校73.9と4.0の差があり、ICTの活用は少しずつ増えてきているが、その反面話し合い活動が少なくなっていることが課題です。各教科の授業だけでなく道徳や総合などでも自分の意見を相手に伝え、相手の意見も聞き、お互いに良い解決方法を考える活動を取り入れる必要性があります。

また、生徒が自ら考え、とりくむ活動を充実させるため、生徒会や委員会などの活発な活動を推進し、より良い学校づくりをめざしていきます。